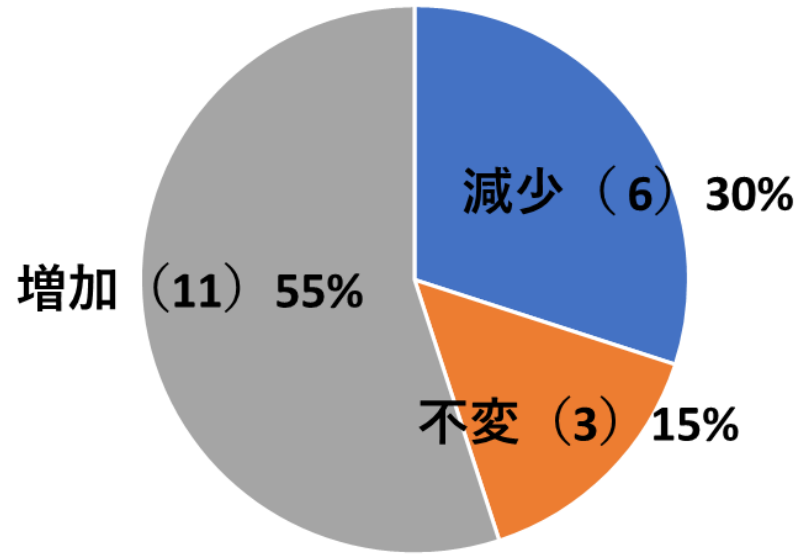


令和6年度景況調査

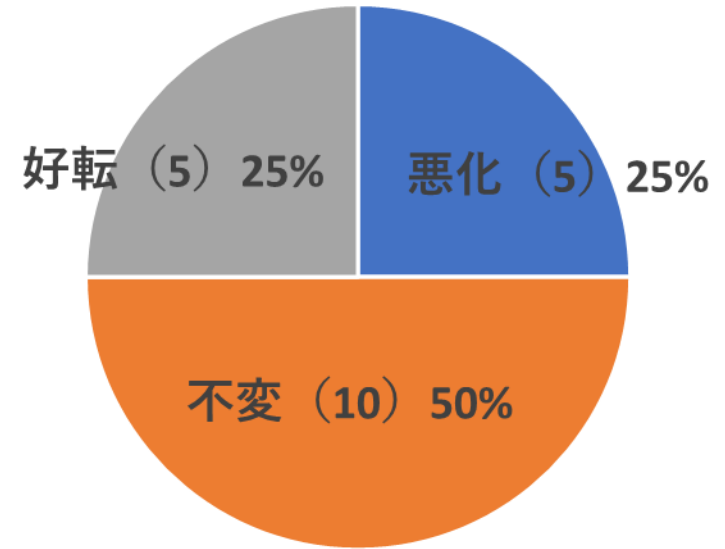
第二四半期(7月～9月)

①調査結果（その1）

売上高の状況（前年比）

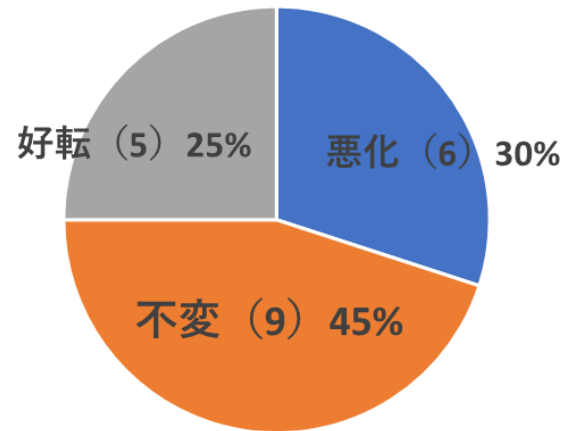


経常利益の状況

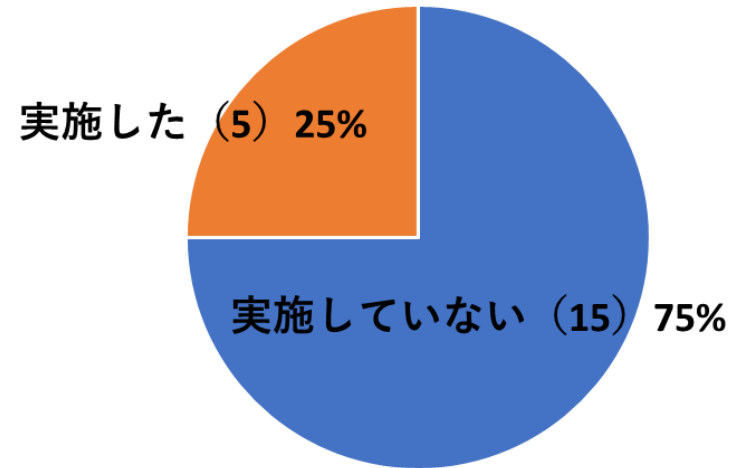


①調査結果（その2）

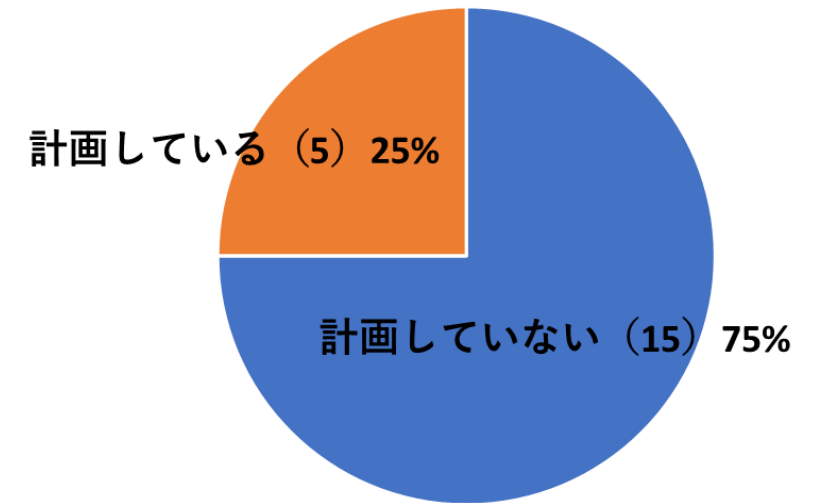
自社業況（前年比）



設備投資の実施（今期）



設備投資の計画（来期）



②分析結果

売上高については、20社のうち11社が前年同時期と比較して増加しており、6社が減少しています。本調査期間中は昨年と比較して順調に売上を伸ばす事業所が多く見られました。

売上が伸びる一方で、仕入価格の高騰等を要因として経常利益の伸びにはつながっておらず、「前年同時期と比較して不変」と回答する事業所が50%、「悪化した」と回答する事業所は25%となっています。

設備投資については、全体の1/4の事業所が今年の7-9月期で実施したと回答しています。また、来期の設備投資の計画についても全体の1/4に留まり、販路開拓や生産性向上等に向けた設備導入への意欲は低調に推移しています。商工会はこうした状況を踏まえながら、国や県、町の支援施策を有効に活用し、経営課題の解決に努めてまいります。